

宮城県港湾戦略ビジョン策定委員会

第1回委員会資料(概要版)



平成22年11月29日

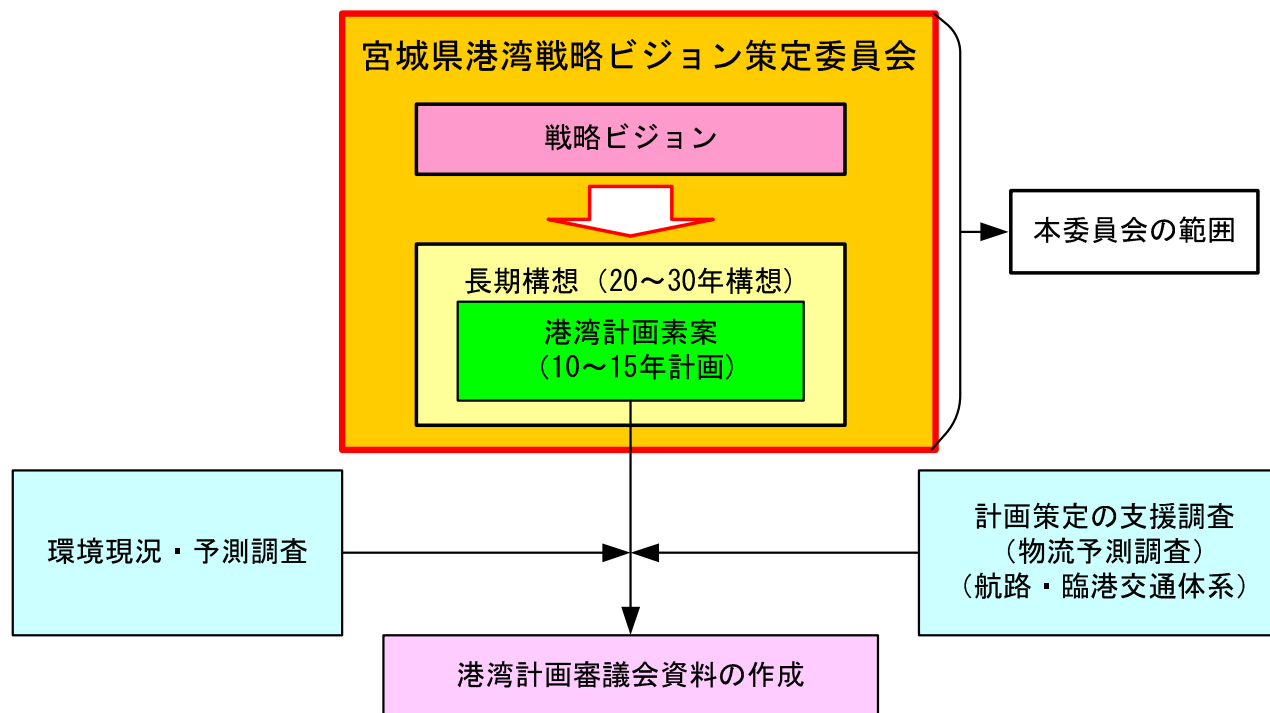
社団法人 日本港湾協会

1. 委員会の目的と手順(1)

◆委員会の目的

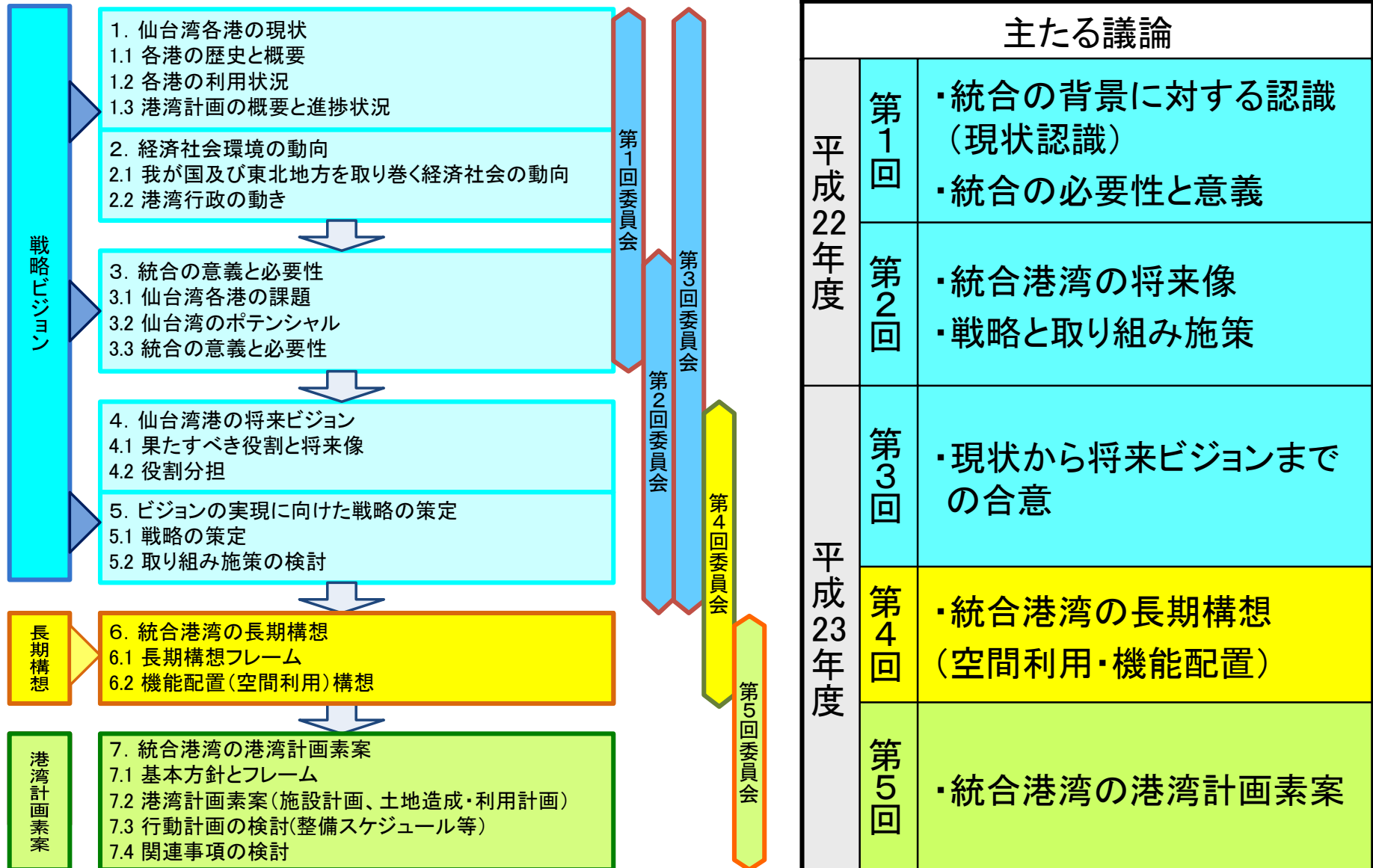
本委員会は、仙台湾内に位置する仙台塩釜港、石巻港、松島港(以下、統合港湾という)を対象とし、近年の経済社会及び港湾行政の動向を踏まえて、統合港湾が宮城県はもとより東北地方の産業及び生活基盤として、地域経済の活力維持や暮らしの安定に貢献していくため、3港が一体となった統合港湾の将来ビジョンとその実現に向けた戦略、長期構想及び港湾計画素案について検討するものである。

◆委員会の位置づけ



1. 委員会の目的と手順(2)

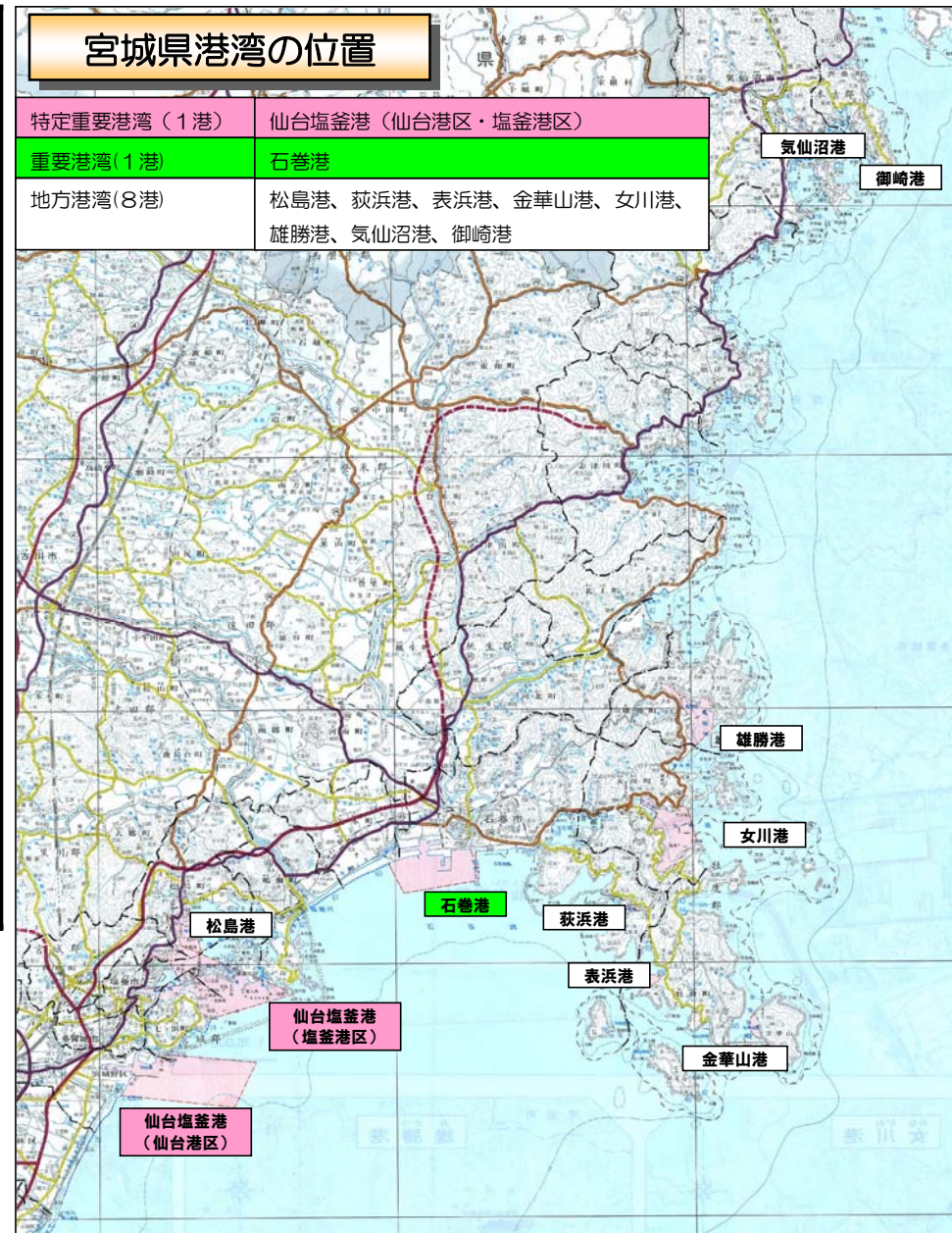
◆戦略ビジョン及び港湾計画策定の手順と各委員会の議題



2. 統合の背景と必要性(1)

仙台湾の歴史から見た統合の背景

- みやぎは江戸時代から仙台湾の港湾が地域経済や暮らしに貢献した歴史を持っている。
- 仙台塩釜港と石巻港は、新産業都市「仙台湾地区」として港湾が整備され、宮城・東北地方の経済活動を支えてきた経緯がある。
- 市町村合併や高速自動車道の整備進展により、港湾背後の行政・経済圏の一体化が進んでいる。
- 道路での走行時間40分、海上距離では直線で約10kmの至近に3港が存在する。



仙台湾各港のあゆみ



仙台湾内港湾の位置



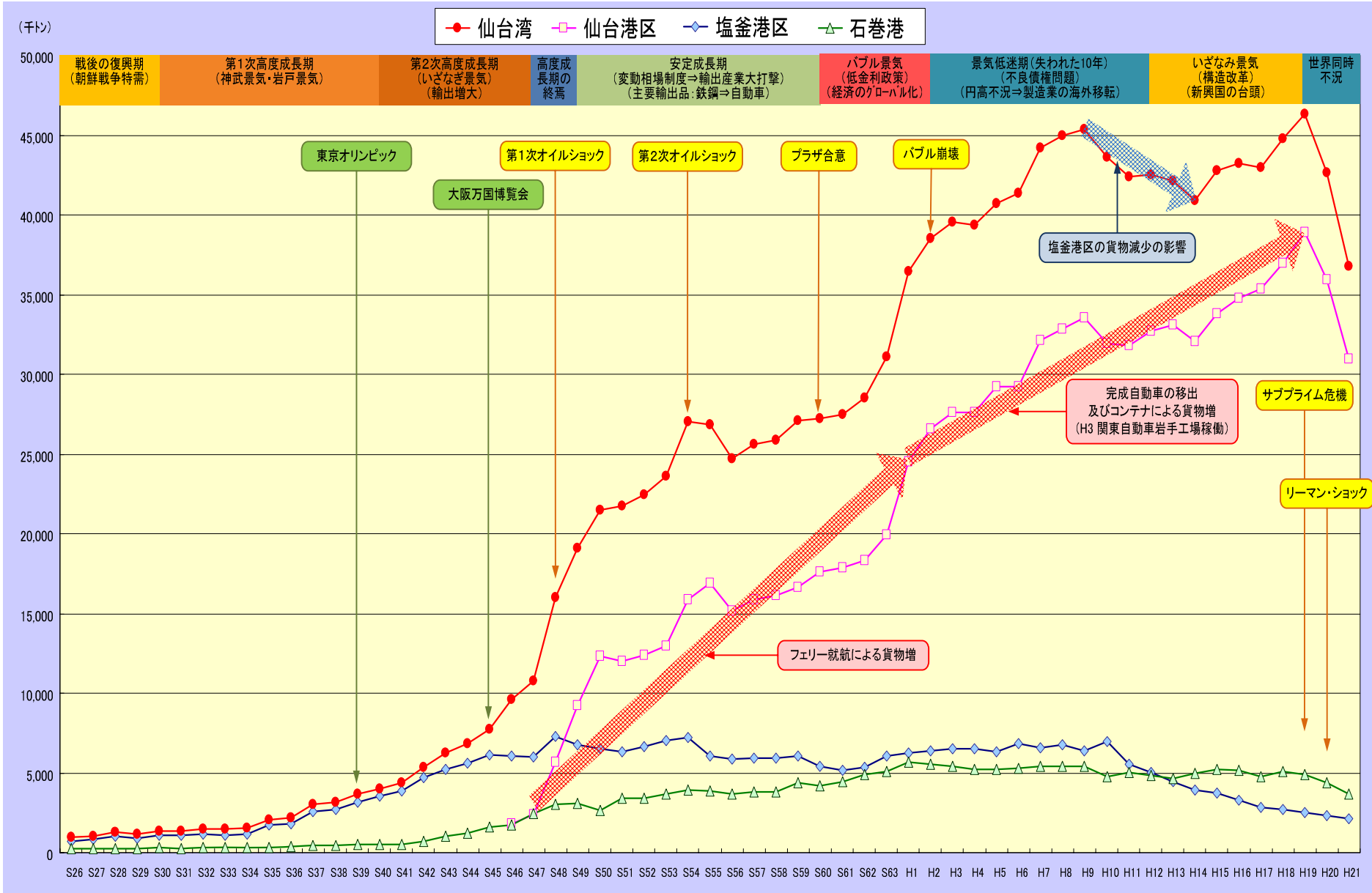
宮城県における広域交通網の整備状況



仙台湾内港湾の現有機能

港格	特定重要港湾		重要港湾	地方港湾
港湾名	仙台塩釜港(仙台港区)	仙台塩釜港(塩釜港区)	石巻港	松島港
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・東北の自動車輸送の拠点 ・穀物等バルク貨物輸送拠点 ・エネルギー産業拠点 (電力、原油、石油製品) ・国際コンテナ5航路 (週5便) ・国内コンテナ7航路 (週13便) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業(観光・水産加工)の輸送拠点 ・内貿バルク貨物の輸送基地 ・日本三景松島観光の玄関 ・マリンレジャーの拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・製紙産業の生産拠点 ・東北の木材・飼料供給基地 ・宮城県の開発拠点・工業港 ・東北南部の広域リサイクルポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本三景松島観光の拠点 ・世界に誇れる観光資源の玄関
年間取扱貨物量 (H21)	30,984千トン	2,107千トン	3,683千トン	—
旅客乗降客数 (H21)	190,792人	479,988人	50,165人	1,288,798人
主要貨物	<ul style="list-style-type: none"> ・完成自動車、原油、石油製品 	<ul style="list-style-type: none"> ・石油製品、重油、セメント 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材チップ、石炭、とうもろこし 	—
主要立地企業	<ul style="list-style-type: none"> ・東北電力 ・JX日鉱日石エネルギー ・JFE条鋼 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北電力 ・太平洋セメント ・出光エッソ 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本製紙 ・石巻合板工業 ・石巻埠頭サイロ 等 	—
公共最大岸壁	-14m×1B	-9m×1B	13m×2B	-3m栈橋2基

仙台湾内港湾（仙台塩釜港・石巻港）取扱貨物量動向



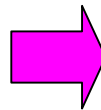
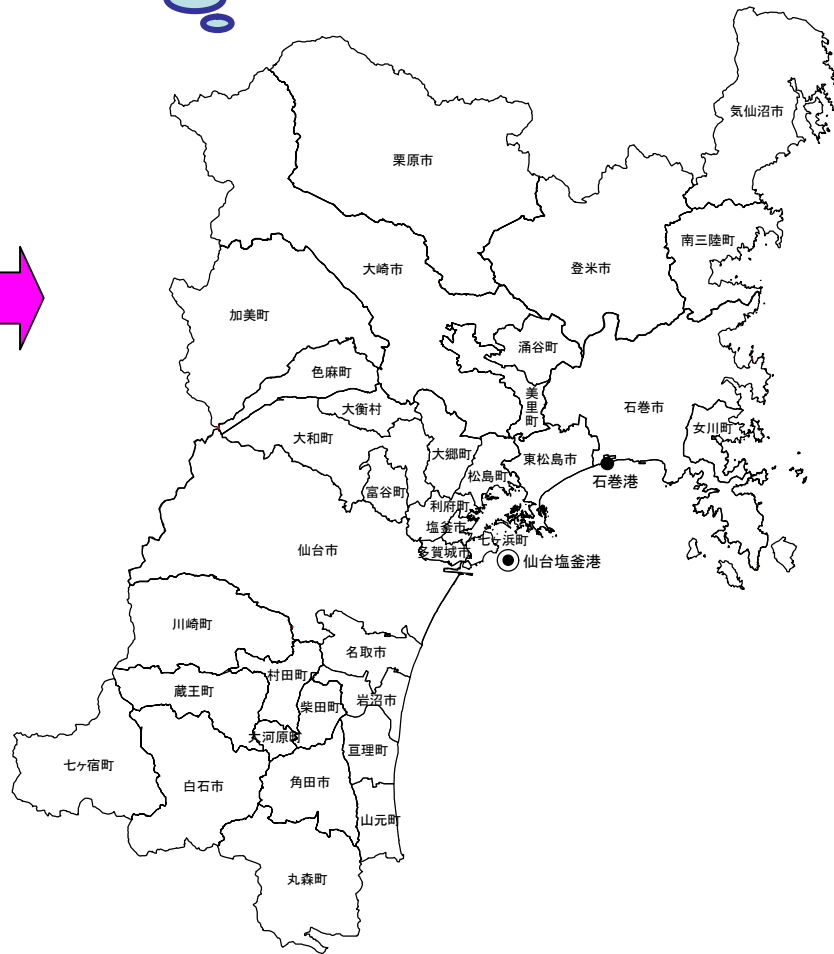
市町村合併

市町村数が約半分に集約

平成15年3月時点: 10市59町2村
(計71市町村)



平成22年11月現在: 13市21町1村
(計35市町村)



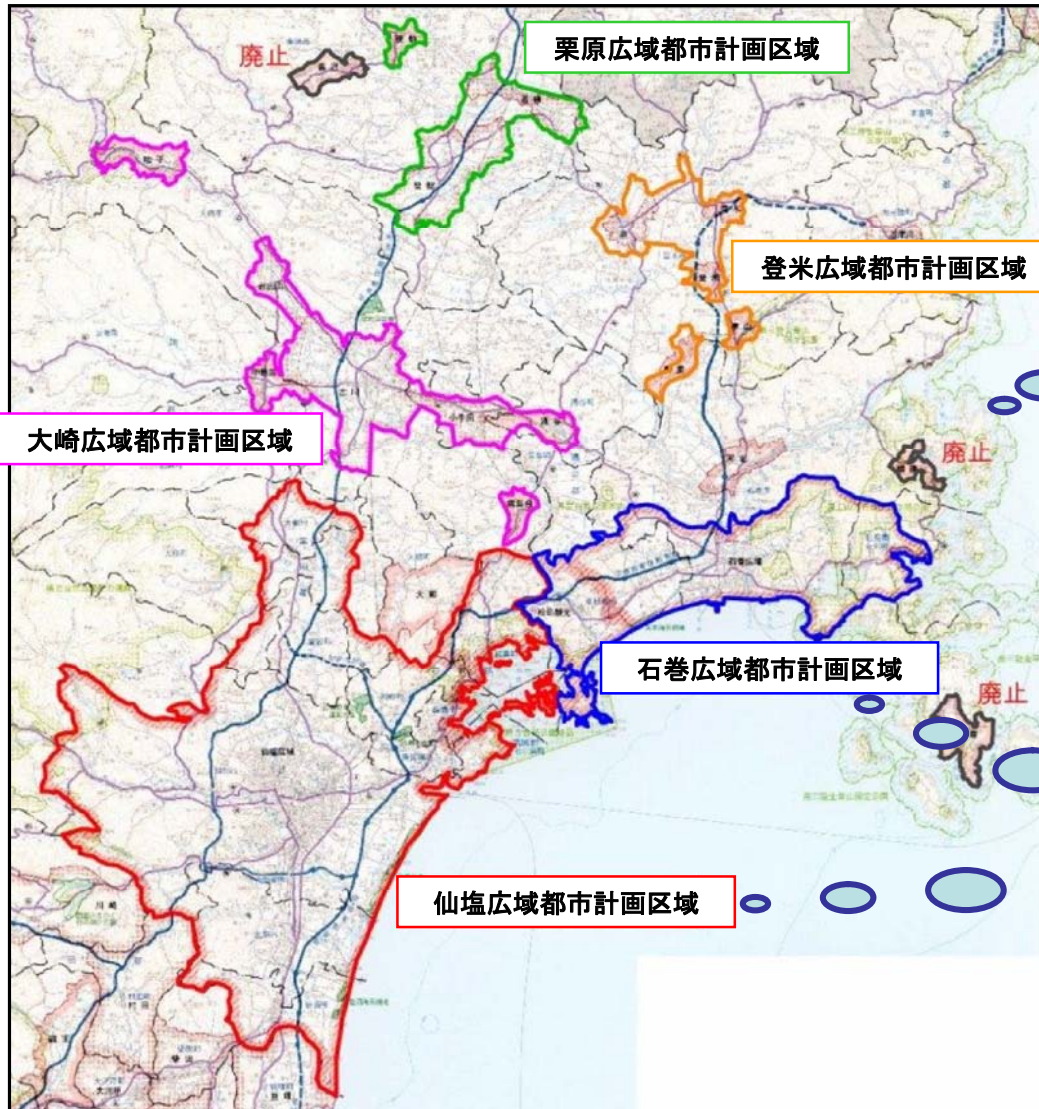
都市計画区域の統廃合

【旧】35都市計画区域

⇒【新】19都市計画区域

都市計画区域名	市町村名
仙塩広域都市計画	仙台市、塩竈市、名取市、岩沼市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町、大和町、富谷町、大衛村
松島観光都市計画	松島町 東松島市(旧鳴瀬町)
石巻広域都市計画	石巻市、女川町、東松島市(旧矢本町)

都市計画区域名	市町村名
仙塩広域都市計画	仙台市、塩竈市、名取市、岩沼市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町、大和町、富谷町、大衛村、松島町
石巻広域都市計画	石巻市、東松島市、女川町



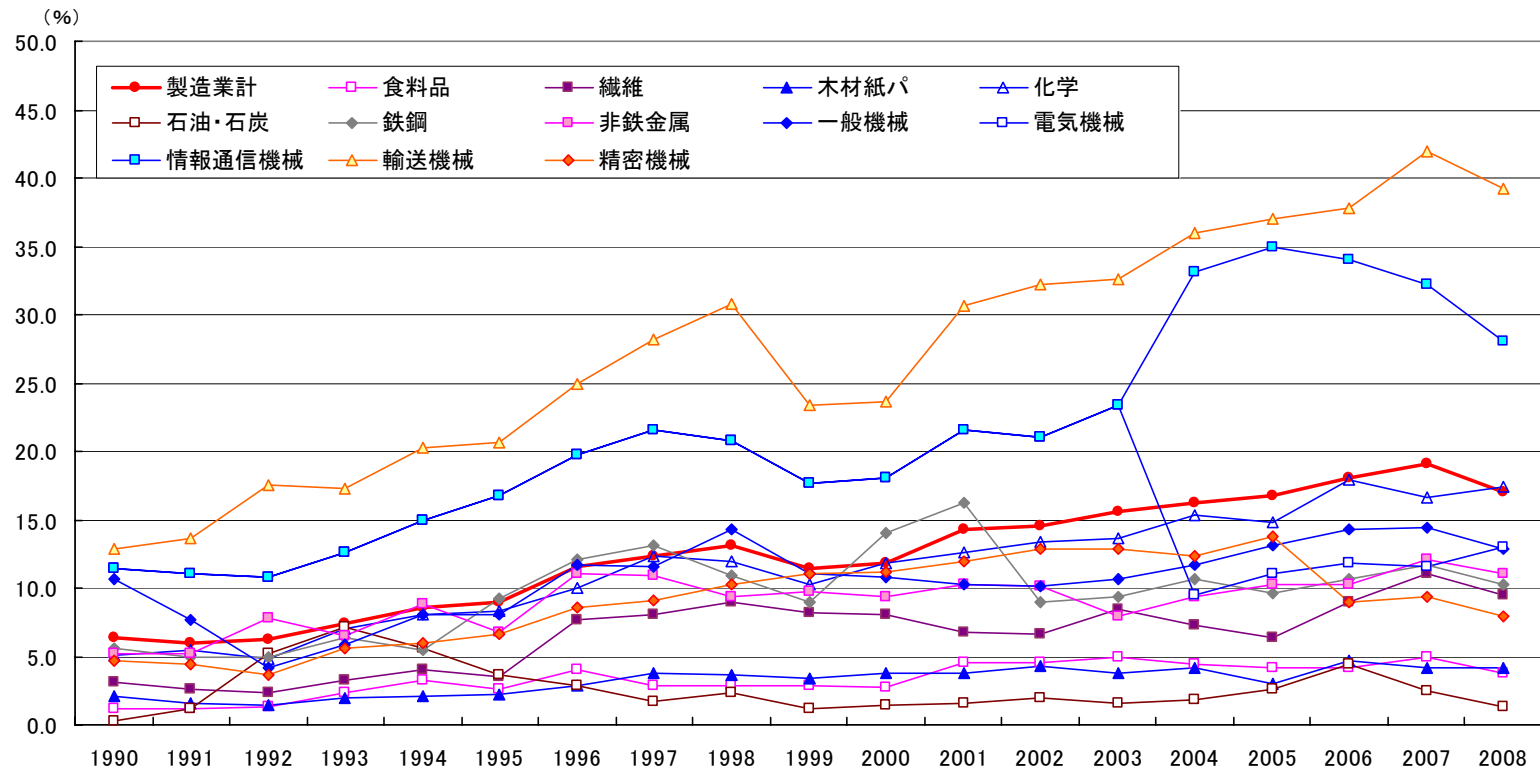
都市計画区域も約半分に統廃合

都市計画区域の拡大

仙台湾を取り巻く経済社会環境から見た統合の背景

- 産業のグローバル化による競争の激化
- 自動車産業を始めとしたものづくり産業の集積
- 東北唯一の特定重要港湾としての役割

業種別海外生産比率の推移【国内全法人ベース（製造業）】

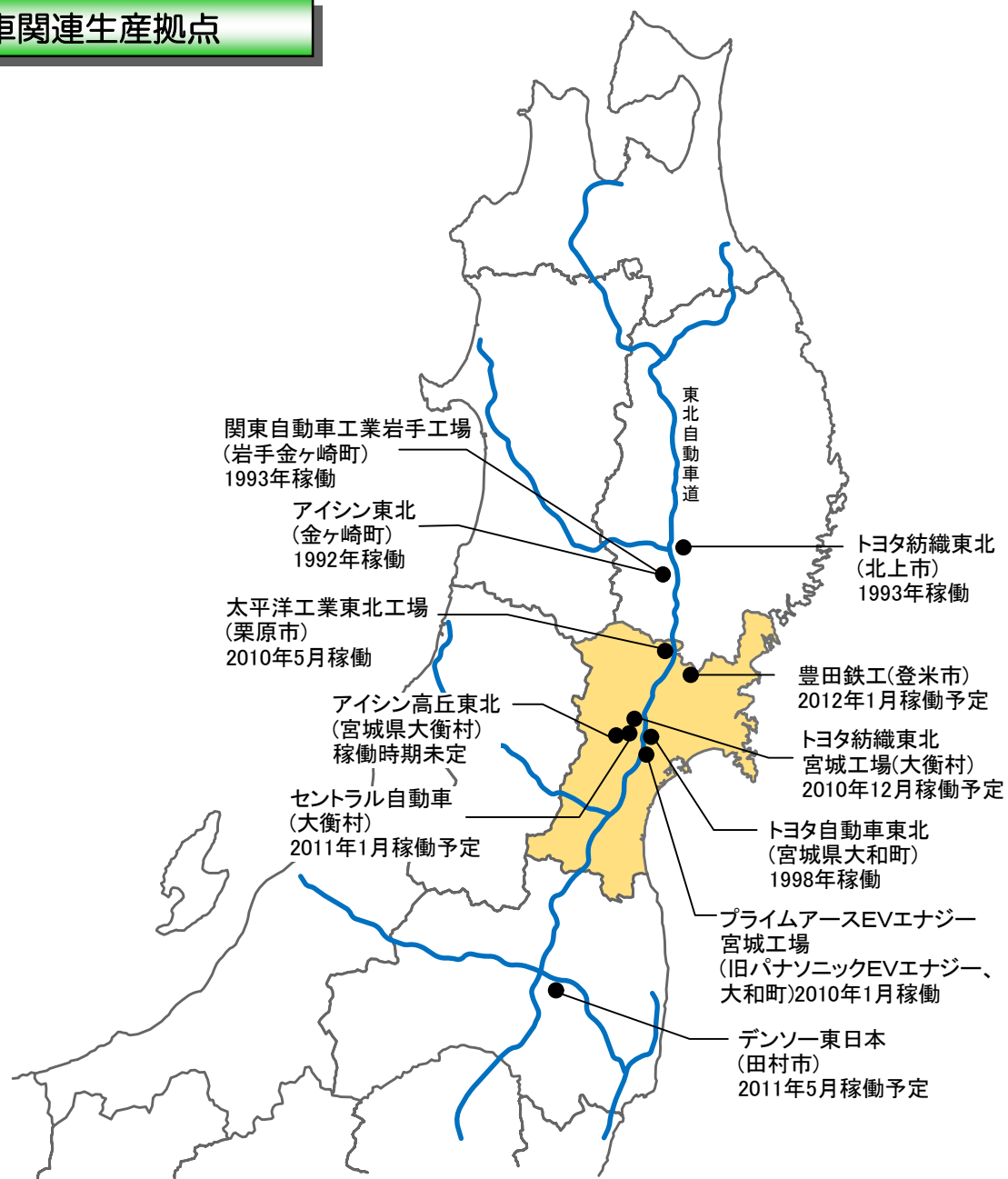


備考1: 海外生産比率 = 海外現地法人売上高 / (海外現地法人売上高 + 国内法人売上高) × 100

2: 2003年までの「電気機械」には「情報通信機械」を含む

資料: 経済産業省「海外事業活動基本調査」

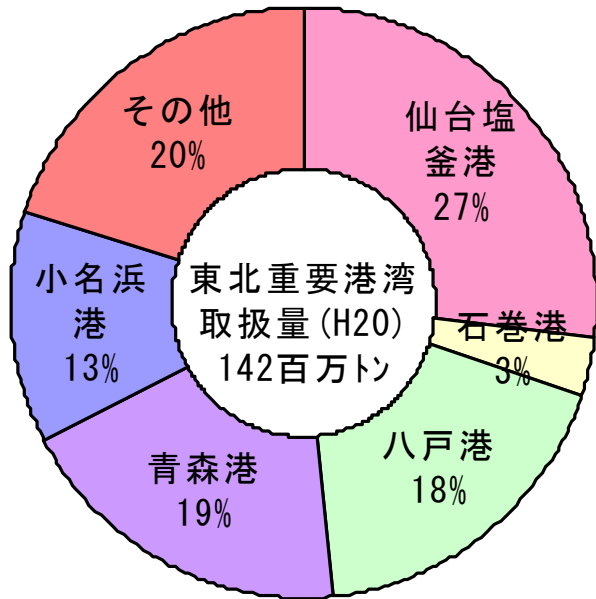
東北の主な自動車関連生産拠点



東北他港との取扱貨物量の比較（１）

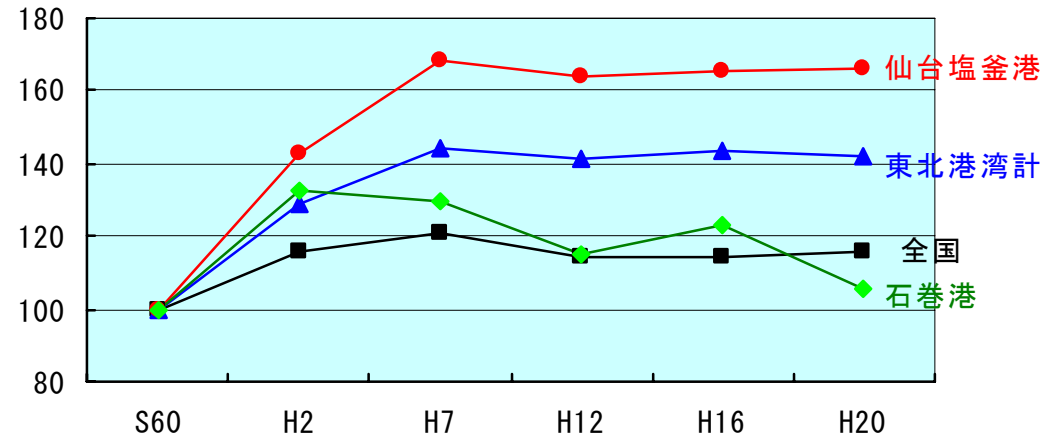
◆総貨物量

東北港湾取扱貨物の港湾別シェア



資料：港湾統計年報

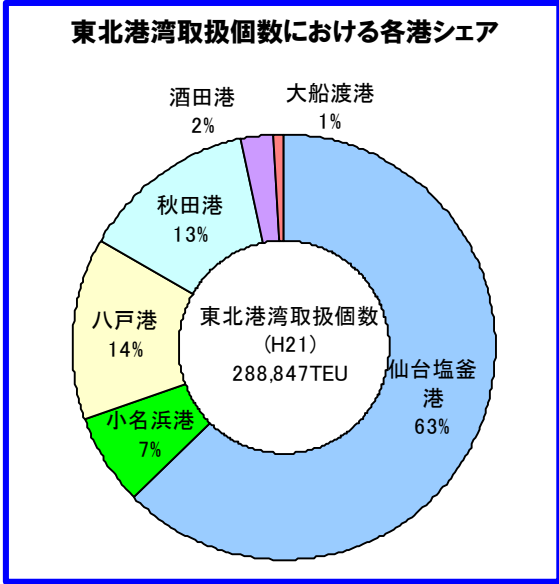
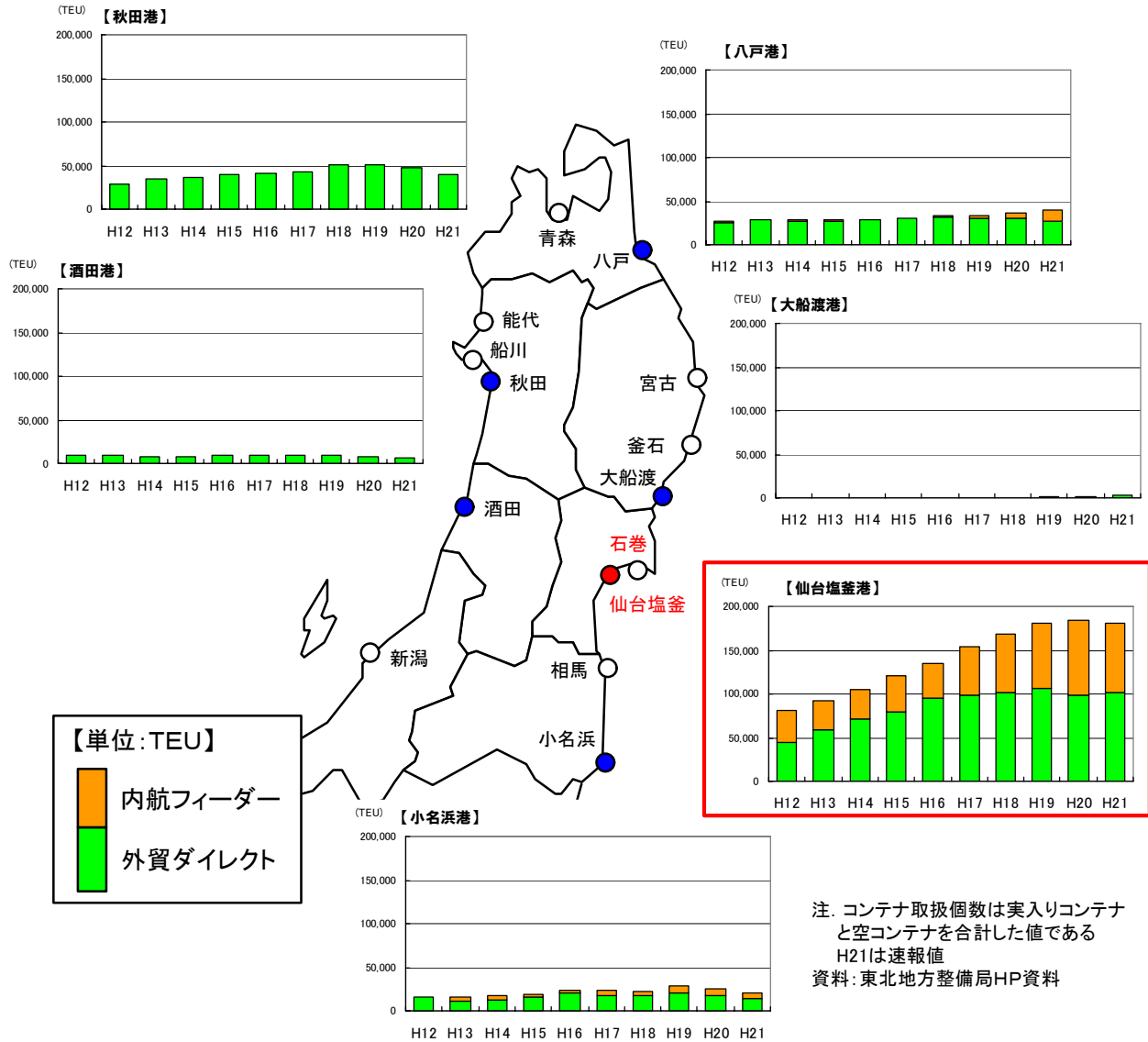
港湾貨物量の推移（昭和60年を100とした場合）



注．東北には新潟港は含まない
資料：港湾統計年報

東北他港との取扱貨物量の比較（２）

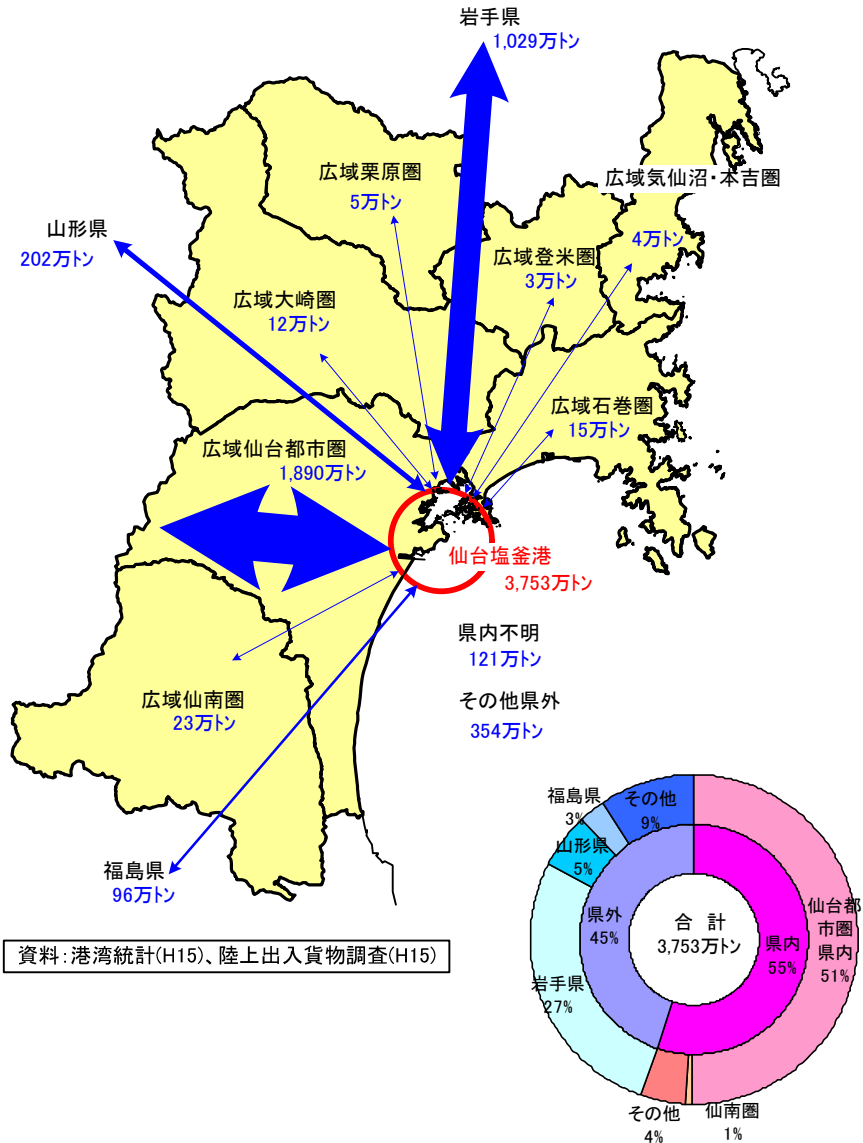
◆外貿コンテナ貨物量



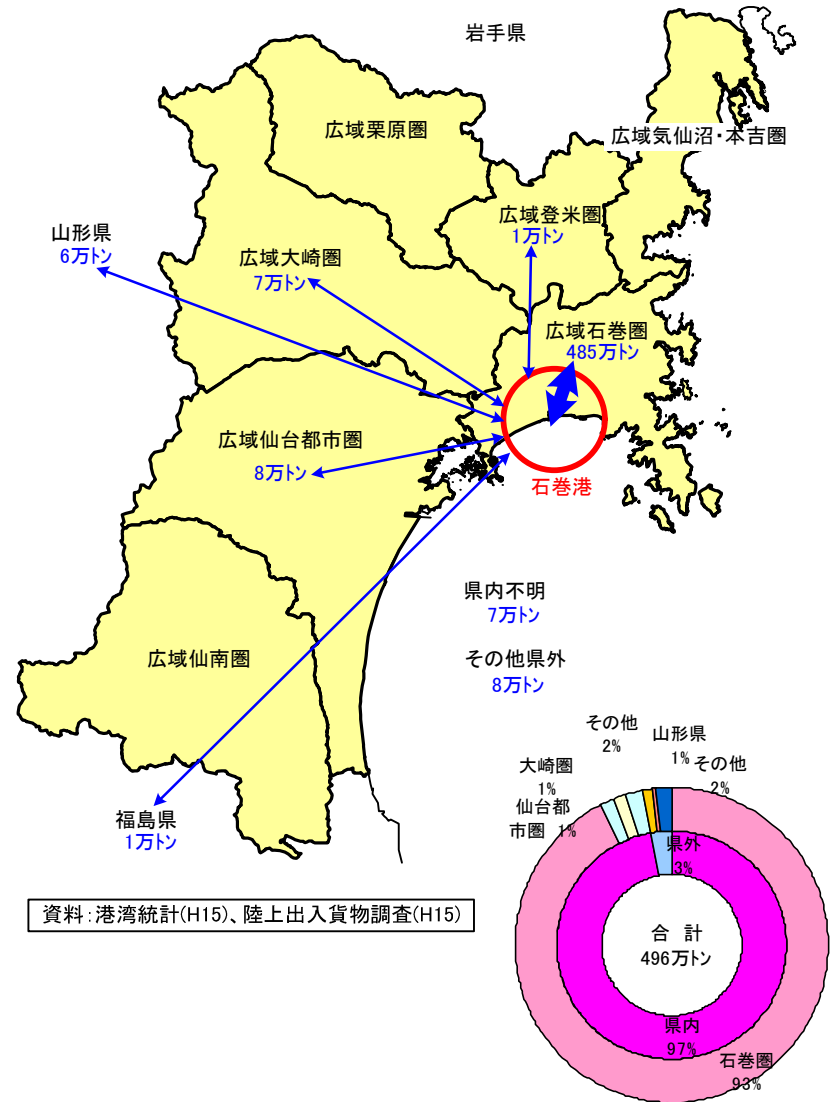
注. コンテナ取扱個数は実入りコンテナと空コンテナを合計した値である
 H21は速報値
 資料: 東北地方整備局HP資料

取扱貨物の背後地域流動状況

◆仙台塩釜港（仙台港区・塩釜港区）



◆石巻港



仙台湾の課題から見た統合の背景

■各港の課題に対し、各港で全て対応することは困難。既存ストックとポテンシャルを活用し総合的に対応することが必要。

○仙台塩釜港(仙台港区)

自動車関連産業の一層の集積を始めユニット貨物量の増加に対し、現有の水際線や埠頭用地では対応できない。新たな開発空間の確保には莫大な投資と時間が必要。

○仙台塩釜港(塩釜港区)

航路水深による大型船舶への制約があり、機能分担による物流機能の役割の再構築が必要。

「みなとまち塩釜」の再生と松島観光の玄関口としての役割の向上。

○石巻港

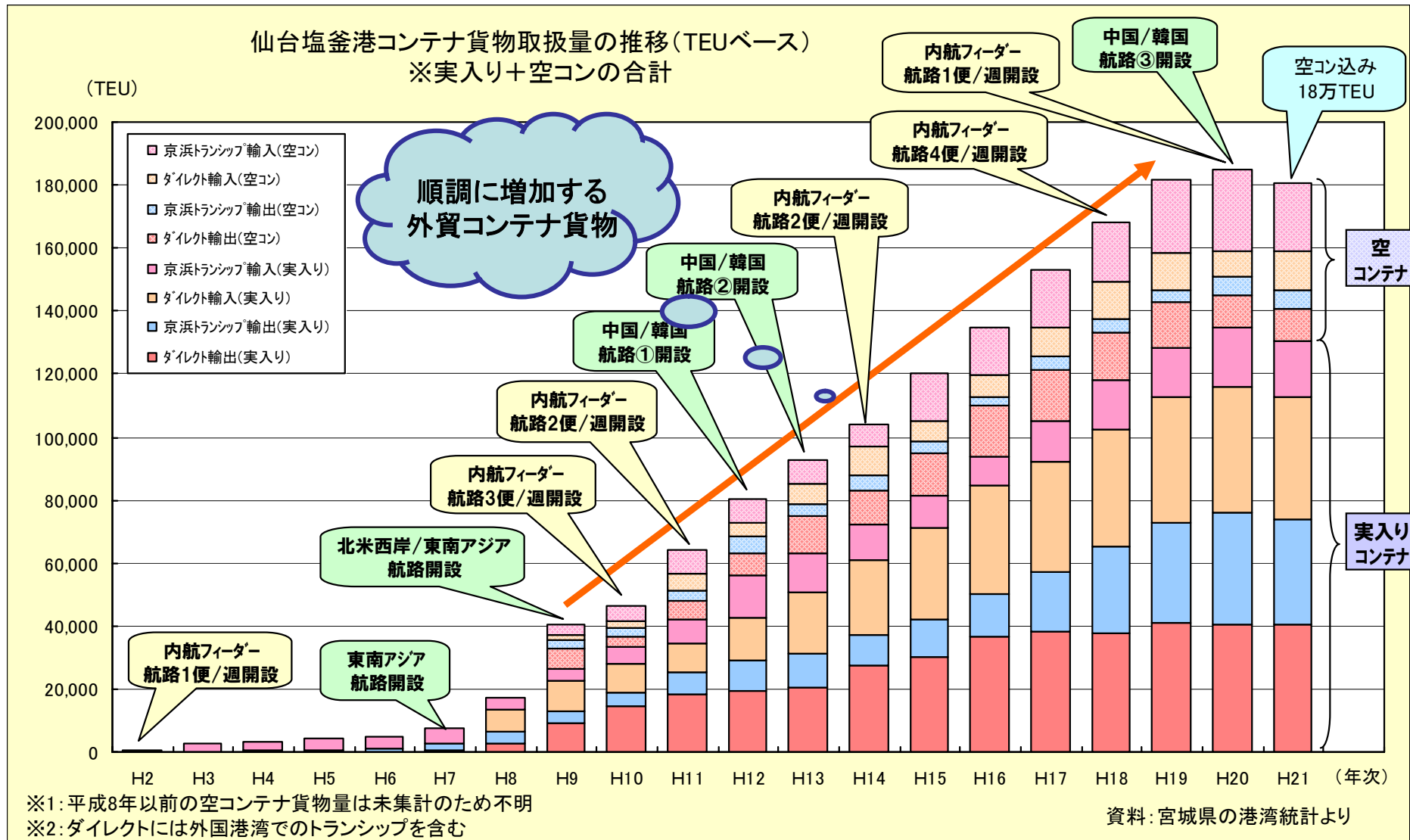
東北地方の基幹産業である製紙・紙パルプ、飼料、木材・合板産業の国際競争力の維持のため、船舶の大型化への対応が急務。

○松島港

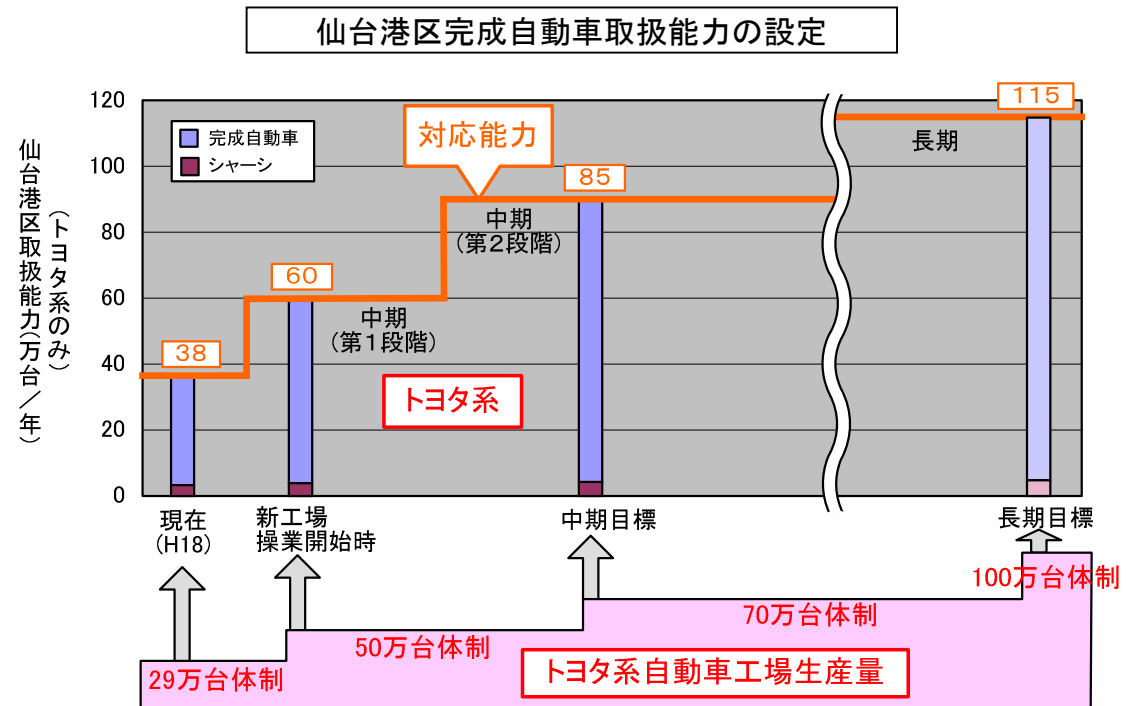
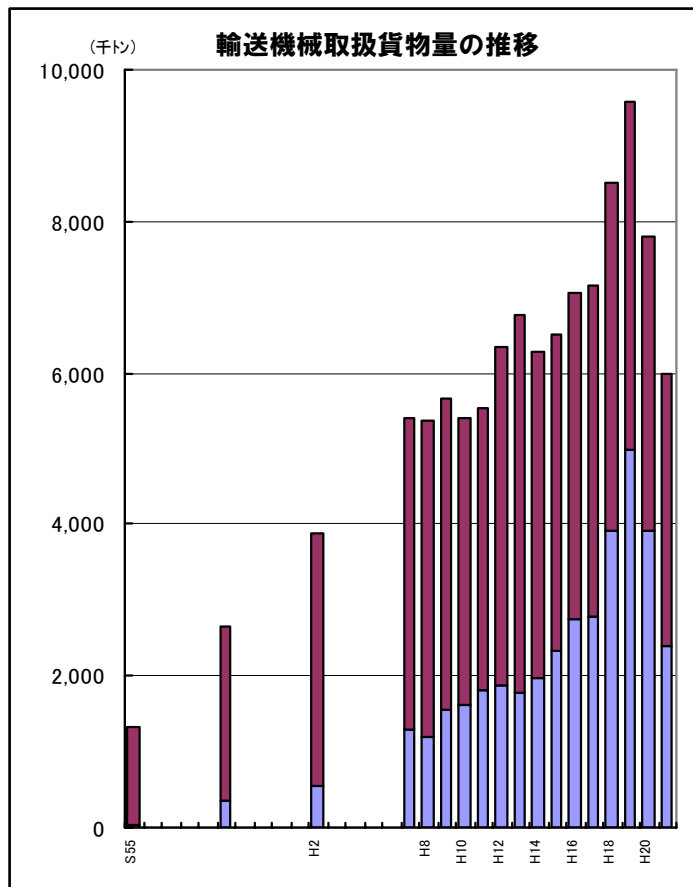
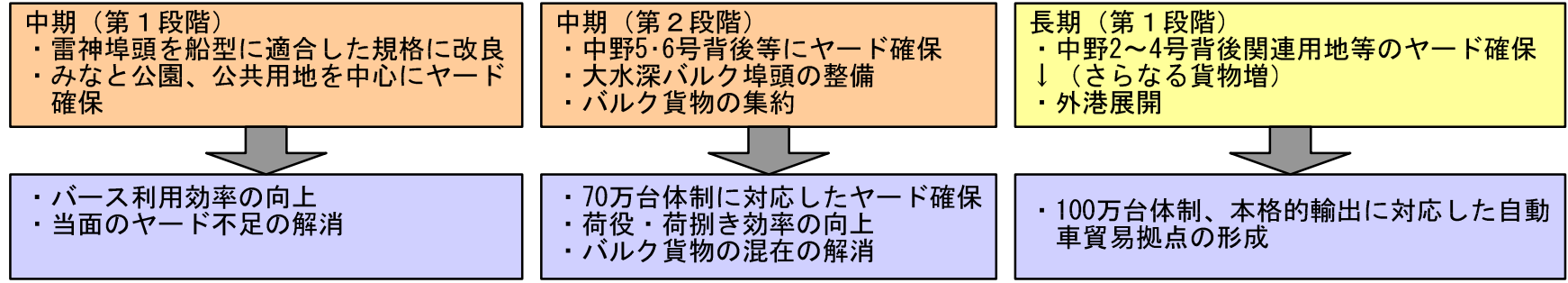
地域の基幹産業である観光産業の活性化への貢献。

仙台塩釜港（仙台港区）

◆外資コンテナ取扱貨物量の推移



◆増加する輸送機械（完成自動車）への対応

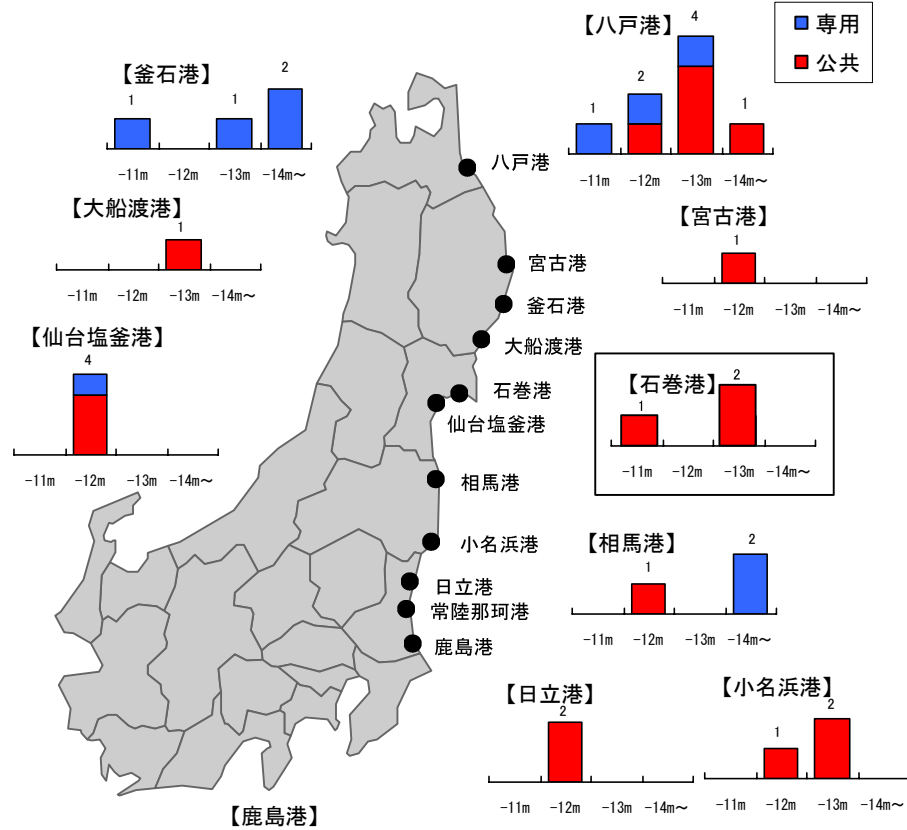


仙台塩釜港（塩釜港区）



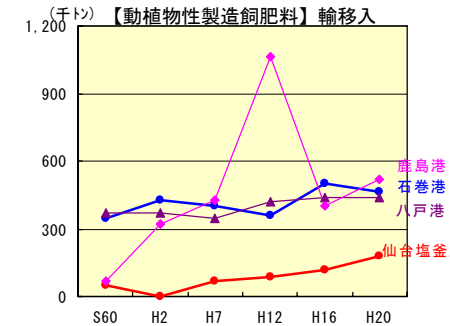
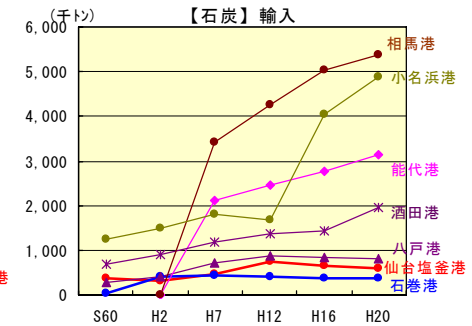
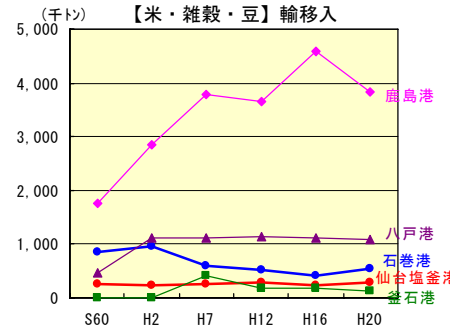
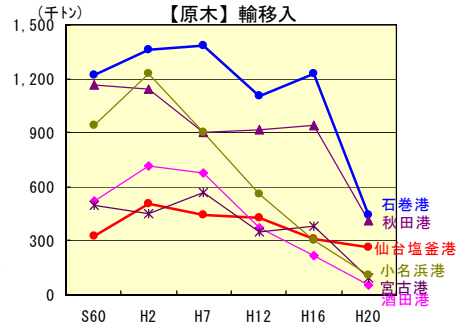
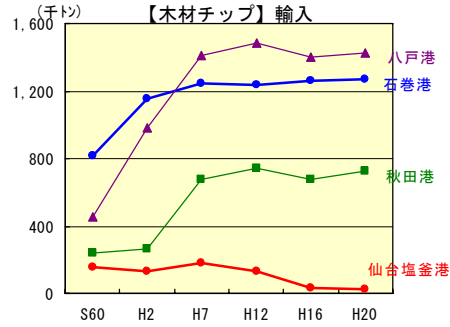
石巻港

バルク貨物取扱の大型岸壁整備状況

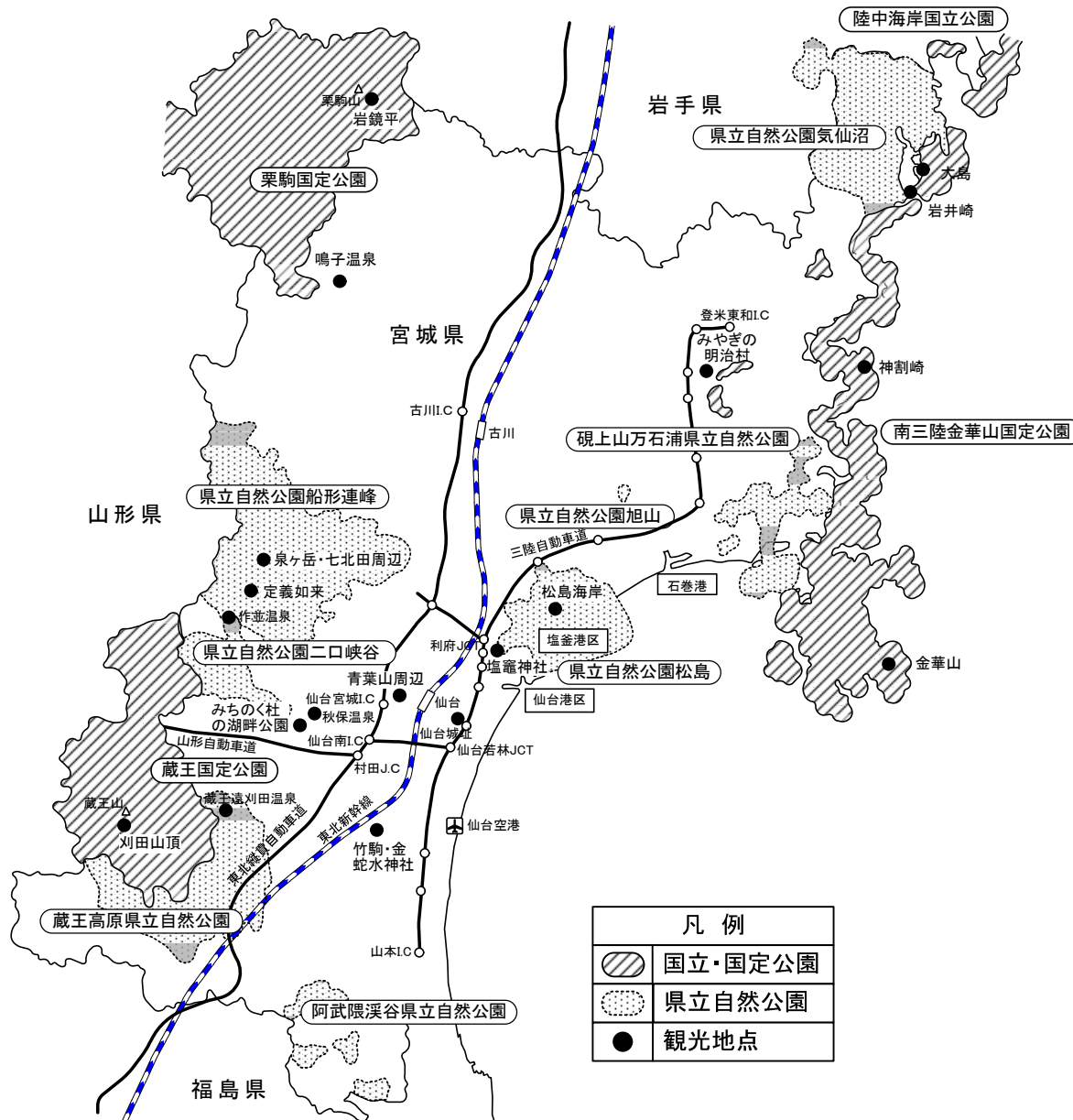


注.石油ドルフィン、
コンテナ埠頭は除く

国際競争力維持の
ため、船舶の大型化
への対応が急務



松島港



H21年 主要観光地点別入込数

単位:人

圏域	観光地点	入込数	宿泊客
仙南	蔵王(刈田山頂)	621,320	0
	遠刈田温泉	785,699	324,833
	えぼしスキー場	147,830	0
	白石城周辺	144,268	0
	みちのく杜の湖畔公園	752,354	77,218
仙台	仙台城址・瑞鳳殿・仙台市博物館	1,054,813	0
	八木山動物公園等	728,660	0
	松島海岸	3,735,000	675,900
	鹽竈神社	900,090	0
	秋保温泉	1,060,860	805,440
	作並温泉	370,255	265,333
	泉ヶ岳・七北田周辺	390,333	215,149
定義如来	1,213,210	1,896	
大崎	鳴子温泉	1,162,700	479,200
	中山平温泉	224,800	102,600
	東鳴子温泉	156,800	84,700
	リゾートパークオニコウベ	150,200	36,800
栗原	いわかがみ平(栗駒山)	0	0
登米	教育資料館	61,684	0
石巻	日和山	157,599	0
	水産観光センター・水産物流通センター	291,916	0
	金華山	61,624	2,147
気仙沼・本吉	気仙沼大島	321,100	0
	岩井崎園地	490,200	0
	唐桑半島	375,800	0
	神割崎	247,088	14,779

資料:観光統計概要(H21 宮城県観光課)

統合の必要性

- 仙台湾の港湾が一体となることで、港湾の競争力を高め、東北地方の中核港湾としての力を向上させる必要がある。
- これにより、東北地方の産業の競争力を向上させ、産業の維持、新規産業の誘致に貢献していく必要がある。

統合の方針

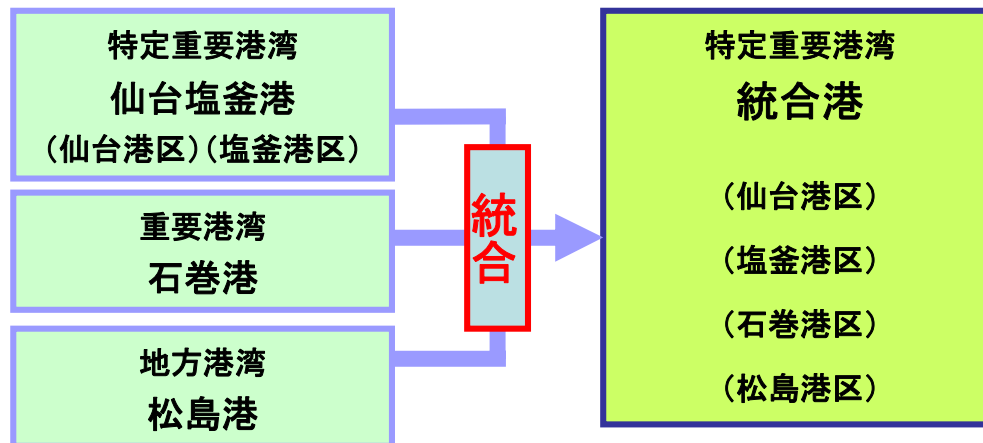
■3港の統合により、港湾の競争力を高める。

■各港の特色を総合的に活かし、効率的な整備・運営を行う。



○東北地方の産業の競争力を高め、産業の維持、雇用、暮らしを守っていく。

○東北地方のものづくり産業を支え、東北唯一の特定重要港湾のブランド力を向上させる。



2. 統合の背景と必要性(2)

統合の必要性の具体

- ①東北の産業を支援する中枢港湾としての役割を強化する必要がある。
(東北の中枢港湾としてのブランド力の向上)
- ②一体的なポートセールスにより貨物の集荷力を高める必要がある。
(各港区の特色を総合的に活かした集荷力のアップ)
- ③統合により効率的な整備を可能にする必要がある。
(集中投資による施設の早期整備)
- ④集中と選択による港湾投資の効率化とコスト削減を図っていく必要がある。
(既存ストックの有効活用と開発空間を港湾全体で共有)
- ⑤管理・運営の効率化により行政サービスを向上する必要がある。
(管理運営の民営化による効率化、管理・運営の一体化)

3. 統合の意義(メリット)

対 象	統合の意義 (メリット)
競争力	<ul style="list-style-type: none">◇ブランド力（知名度）を向上させ戦略的なポートセールスが可能となる。◇各港区の特色を総合的に活かすことで貨物の集荷力をアップすることが可能となる。◇船混みや埠頭荷役の輻輳が生じている仙台港区のバルク貨物を石巻港区、塩釜港区にシフトすることで、仙台港区のユニット貨物の増加に対応が可能となる。◇バルク貨物の船舶の大型化の要請に対して、石巻港区に集積をすすめることで企業の競争力の確保に貢献できる。

対 象	統合の意義（メリット）
整 備	<p>◇港湾統合により新規港湾施設の投資の選択と集中が図られ早期整備が可能となる。</p> <p>◇各港区の既存社会ストックの有効活用と石巻港区の開発空間を統合港湾全体で共有することで、統合港湾の整備の効率化を図ることが可能となる。</p>

対 象	統合の意義（メリット）
管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> ◇港湾の一体的な管理によりコストの低減や各種手続きの簡素化等行政サービスの向上が可能となる。 ◇行政コストの削減、スケールメリットを活かした新しい行政サービスが可能となる。 ◇各港区の既存の管理運営のストック、ノウハウを拡充することで、統合する港湾の一体的な管理・運営が可能となる。 ◇港湾の一体的な管理により施設の維持管理、更新、長寿命化等効率的な維持管理が可能となる。